

製品名: TRAP240 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19227

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	250kDa

抗原情報

遺伝子名	MED13L MED13L; KIAA1025; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit 13-like; Mediator
別名	complex subunit 13-like; Thyroid hormone receptor-associated protein 2; Thyroid hormone receptor-associated protein complex 240 kDa component-like
遺伝子 ID	23389.0
SwissProt ID	Q71F56
免疫原	抗血清はヒト MED13L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 449-498

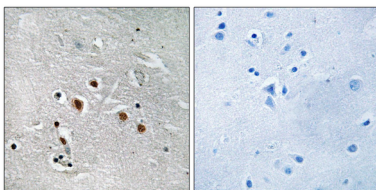
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、メディエーター複合体のサブユニットです。メディエーター複合体は、RNA ポリメラーゼ II によって転写されるほとんどの遺伝子の転写コアクチベーターとして機能する、大規模なタンパク質複合体です。このタンパク質は、心臓と脳の初期発達に関与しています。この遺伝子の欠陥は、右旋性大血管転位症 (DTGA) の原因となります。[RefSeq 提供、2010年7月]、疾患：右旋性大血管転位症と精神遅滞を伴う患者において、MED13L 遺伝子に関連する染色体異常が発見されました。転座 t(12;17)(q24.1;q21)。、疾患：MED13L 遺伝子の欠陥は、右旋性大血管転位症 (DTGA) の原因となります [MIM:608808]。DTGA は大血管の完全な逆位から成り、大動脈が右心室から、肺動脈が左心室から誤って発生します。これにより、肺循環系と全身循環系が完全に分離され、生命維持に適さない配置となります。患者は、心房中隔欠損症や心室中隔欠損症、あるいはその他のタイプのシャントを有しており、これらにより両循環系がある程度混ざり合って最低限の生命維持が図られていますが、外科的介入が常に必要となります。機能:メディエーター複合体の構成要素であり、ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与するコアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的な調節タンパク質から基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構に情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な転写開始前複合体の組み立ての足場として機能します。このサブユニットは、Wnt シグナル伝達経路および SHH シグナル伝達経路の標的の転写を特異的に制御する可能性があります。、PTM:DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性:メディエーター複合体サブユニット 13 ファミリーに属します。、サブユニット:メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 で構成されています。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。1つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれています。、組織特異性:脳 (小脳)、心臓 (大動脈)、骨格筋、腎臓、胎盤、末梢白血球で高発現しています。胎児脳でも高発現しています。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; メディエーター複合体

画像データ



MED13L 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。